

10. 藤沢市保健所のサービス等

(1) 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生動向調査、患者発生時の疫学調査や防疫活動、患者管理、接触者健診等を行っています。また、エイズ・性感染症予防のための普及啓発、相談・検査等を行っています。

○問い合わせ 保健予防課 電話0466-50-3593(直通) FAX0466-28-2121

①結核予防対策

- ・ 接触者健康診断等 結核患者の接触者等の健診を実施
- ・ 患者管理及び医療援護、療養支援 入院や通院治療の公費負担、服薬支援等
- ・ 普及啓発 医療従事者研修会、外国籍市民等の健診、街頭キャンペーン活動等

②感染症予防対策

感染症発生動向調査により流行状況を把握するとともに、患者発生時には防疫活動等を行い感染拡大の防止に努めています。

- ・ 感染症発生動向調査
- ・ 患者発生時の疫学調査と防疫活動
- ・ 感染症予防講習会等の普及啓発

③エイズ予防対策

エイズ予防及び患者・感染者に対する差別偏見をなくすため、エイズの正しい知識の普及啓発及び相談・検査等を行っています。

- ・ 普及啓発 青少年エイズ・性感染症予防講演会、資料配布、街頭キャンペーン活動等
- ・ エイズ相談・HIV・梅毒検査（無料・匿名・即日）
- ・ 地域エイズ対策推進会議

④肝臓疾患対策

- ・ B型・C型肝炎検査と相談（健康づくり課で行う肝炎ウイルス検診対象外の方）
- ・ 予防啓発のため講演会等の開催
- ・ B型・C型肝炎のインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療に対する医療費の助成（経由事務）

(2) 精神保健対策

地域住民を対象とした精神保健福祉相談、もの忘れ相談、精神障がい者の地域生活支援、当事者家族支援、自殺対策等の事業を行っています。

精神保健に関係して、本人や家族からのご相談やケアマネジャー自身が対応に困ったときは、担当までご相談ください。

○問い合わせ 保健予防課 電話0466-50-3593(直通) FAX0466-28-2121

①精神保健対策

定例相談 精神科嘱託医による相談(予約制) ※日程は市の広報に掲載

①精神保健福祉相談(月2回)

対象	原則として精神科治療を受けていない本人または家族
内容	未治療で精神的な疾患の心配のある本人及び家族の相談を嘱託の精神科医が実施します。治療の必要性の有無等の助言を行います。
留意事項	原則として診断や継続的な相談は行いません。(継続相談が必要な場合は福祉職や保健師が対応します。)

②もの忘れ相談(月2回)

対象	原則として認知症の診断や治療を受けていない本人または家族
内容	<ul style="list-style-type: none">・軽度認知障がい(MCI)や早期認知症の心配がある方、家族の相談を嘱託の精神科医が実施します。本人が希望する場合は、二段階方式脳機能テストや30項目問診票による聞き取りの上で、面談を実施します。(CTやMRI等の画像診断はできませんので、確定診断とはなりません。)・本人、家族に対してはリーフレット「脳のリハビリ」などを利用した助言や受診勧奨を行い、また、家族の対応方法について助言を行います。

随時相談

①福祉職、保健師等による相談

電話による相談は、随時お受けしています。また、来所による相談を希望される方は、事前に電話等で日時を予約してから来所していただくようご案内ください。

②自殺未遂者・家族のための電話相談「まごころホットライン」

大切な“いのち”を守るために、専門の相談員による電話での相談を行っています。匿名の相談も可能です。1回30分程度を目安にお願いしています。

○受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後5時(年末年始・祝日を除く)

※「まごころホットライン」 電話 0466-81-9120

(※相談員の携帯電話に転送されるため、携帯電話との通話に相当する料金がかかります。)

③ 藤沢市認知症受入れ医療機関情報

市内で認知症、若年性認知症の診断、治療を行っている医療機関の情報を提供します。かかりつけ医のいない方については、このリストを活用してご案内いただくか、保健予防課にお尋ねいただくようお願いください。

ご案内は、保健予防課 電話 0466-50-3593 (直通) FAX 0466-28-2121

④ 認知症簡易チェックサイト

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと心配されている方に、パソコンやスマートフォンを利用して簡易なチェックができます。医学的な判断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

・「これって認知症？」(家族・介護者向け)
・「わたしも認知症？」(本人向け)

} URL <http://fishbowlindex.net/fujisawan/>

② 関係機関(地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護保険サービス提供事業所など)

との連携

① ケースカンファレンス、ネットワーク会議への参加

高齢者のご家族等に精神疾患、精神障がいがある方がいて、対応等に困る場合は必要に応じて保健予防課の職員がケース会議等に参加します。

また、高齢者、障がい者虐待、児童虐待ネットワーク会議等への参加協力をしています。精神症状に起因した虐待が疑われる場合には、必要に応じて介入やネットワーク会議等に参加しますのでご相談ください。

② ケース事例検討会

当課では、年3回程度、神奈川県精神保健福祉センターの助言者を招いてケース事例検討会を実施しています。関係機関のケアマネジャー等に出席を依頼する場合がありますのでご協力をお願いします。また、対応困難事例の検討を希望する場合は、ご相談ください。

③ 関係機関との同行訪問等について

未治療、医療中断等のケースについては、本人または同居家族等の了解を前提に、同行訪問や面接等を実施します。(同行訪問後の継続的な訪問については、保健予防課の基準により実施します。)

※医療機関や他の関係機関とやりとりした個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づき慎重に対応していただくようお願いいたします。

③当事者、家族への支援

①マドンナの会

対象	精神疾患で療養中の女性
内容	・ 藤沢市保健所で月に1回開催 ・ 軽作業等のプログラムを通して、人との交流を楽しむ時間を作る。
留意事項	主治医が参加を了承した方で、原則、事業所やデイケア等の所属のない方が対象です。

②家族教室

対象	精神障がい者（主として統合失調症）の家族等
内容	外部講師による病気の理解、くすりの話、家族の対応、社会資源の紹介などの学習と家族の交流の場として開催

③団体への支援

団体名	内容等
家族会	精神障がい者のご家族の会
ふれあい会	認知症者を介護する家族の会 開催日 月に1回、第2水曜日(日程は市の広報に掲載) 会場 保健所
藤沢断酒新生会(断酒会)	開催日 月に1回、第3木曜日 会場 市役所分庁舎
つぼみの会	ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの会 開催日 第2水曜日 会場 市役所分庁舎
絆会	若年性認知症 本人と家族の会 開催日 月に1回、原則第3金曜日（日程は広報ふじさわに掲載） 会場 市役所分庁舎

※各団体のご案内は、保健予防課 電話 0466-50-3593(直通) FAX 0466-28-2121

④地域生活支援事業・普及啓発事業

精神科病院から地域への移行を促進し、また、住み慣れた地域で本人が希望する生活を継続できるよう支援します。また、精神保健福祉に対する正しい知識を普及するため、地域の関係機関と協働して講演会やパネル展示等を開催します。

地域生活支援	内容	精神科病院に入院中の方が、グループホーム等の宿泊体験、居宅介護（ホームヘルプ）の利用体験を行う事で、退院の意欲を促し、生活環境調整等を行う
	問い合わせ	・保健予防課 電話 0466-50-3593（直通） FAX 0466-28-2121 ・東南部障がい者地域相談支援センターおあしす 電話 0466-55-1399

- ・精神保健福祉公開講座 日程は広報ふじさわに掲載
- ・市民講演会・パネル展示

(3) 難病対策

指定難病患者・家族の精神的、経済的負担の軽減を図るため、医療費助成の申請受付等（経由事務）及び相談等を行っています。

○問い合わせ 保健予防課 電話 0466-50-3593（直通） FAX 0466-28-2121

①指定難病医療給付事業（経由事務）

≪神奈川県指定難病医療費助成制度の対象となる疾患≫

令和6年4月1日現在 341疾患

（「難病の患者に対する医療に関する法律第5条第1項に規定する指定難病」別紙1～別紙3参照）

②療養生活の相談

難病患者とその家族を対象に、療養生活等について保健師が訪問や面接相談を行っています。

③医療相談事業

病気についての最新治療や療養生活について講演会や相談会を行っています。

④患者会支援

- ・患者と家族の会「たんぼぼの会」

藤沢市内にお住まいの難病患者・ご家族で運営している同好会です。

参加されるみなさまの心のふれあいを目的に、年6回程度情報交換等をしています。

- ・藤沢市ALS／神経難病患者の会「オリーブの会」

進行性神経難病の患者・ご家族のみなさまと共に療養の情報交換を年6回程度開催しています。

(4) 原爆被爆者援護対策

原爆被爆者の健康保持及び増進と福祉の向上を図るため、各種手当の申請受付等（経由事務）を行っています。

○問い合わせ 保健予防課 電話 0466-50-3593（直通） FAX 0466-28-2121

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から、334～338は令和3年11月から、339～341は令和6年4月から医療費助成を開始)

番号	病名
1	球脊髄性筋萎縮症
2	筋萎縮性側索硬化症
3	脊髄性筋萎縮症
4	原発性側索硬化症
5	進行性核上性麻痺
6	パーキンソン病
7	大脳皮質基底核変性症
8	ハンチントン病
9	神経有棘赤血球症
10	シャルコー・マリー・トゥース病
11	重症筋無力症
12	先天性筋無力症候群
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー
15	封入体筋炎
16	クローウ・深瀬症候群
17	多系統萎縮症
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
19	ライゾゾーム病
20	副腎白質ジストロフィー
21	ミトコンドリア病
22	もやもや病
23	プリオン病
24	亜急性硬化性全脳炎
25	進行性多巣性白質脳症
26	HTLV-1関連脊髄症
27	特発性基底核石灰化症
28	全身性アミロイドーシス
29	ウルリッヒ病
30	遠位型ミオパチー
31	ベスレムミオパチー
32	自己食空胞性ミオパチー
33	シュワルツ・ヤンベル症候群
34	神経線維腫症
35	天疱瘡
36	表皮水疱症
37	膿疱性乾癬(汎発型)
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群
39	中毒性表皮壊死症
40	高安静脈炎
41	巨細胞性動脈炎
42	結節性多発動脈炎
43	顕微鏡的多発血管炎
44	多発血管炎性肉芽腫症
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
46	悪性関節リウマチ
47	バージャー病
48	原発性抗リン脂質抗体症候群
49	全身性エリテマトーデス
50	皮膚筋炎／多発性筋炎
51	全身性強皮症
52	混合性結合組織病
53	シェーグレン症候群
54	※成人発症スチル病(旧名:成人スチル病)
55	再発性多発軟骨炎
56	ベーチェット病
57	特発性拡張型心筋症
58	肥大型心筋症
59	拘束型心筋症
60	再生不良性貧血
61	自己免疫性溶血性貧血
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症
63	特発性血小板減少性紫斑病
64	血栓性血小板減少性紫斑病
65	原発性免疫不全症候群
66	IgA腎症
67	多発性嚢胞腎
68	黄色靭帯骨化症
69	後縦靭帯骨化症
70	広範脊柱管狭窄症

※令和6年4月から名称変更

番号	病名
71	特発性大腿骨頭壊死症
72	下垂体性ADH分泌異常症
73	下垂体性TSH分泌亢進症
74	下垂体性PRL分泌亢進症
75	クッシング病
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
78	下垂体前葉機能低下症
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
80	甲状腺ホルモン不応症
81	先天性副腎皮質酵素欠損症
82	先天性副腎低形成症
83	アジソン病
84	サルコイドーシス
85	特発性間質性肺炎
86	肺動脈性肺高血圧症
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
88	慢性血栓栓性肺高血圧症
89	リンパ脈管筋腫症
90	網膜色素変性症
91	バッド・キアリ症候群
92	特発性門脈圧亢進症
93	原発性胆汁性胆管炎
94	原発性硬化性胆管炎
95	自己免疫性肝炎
96	クローン病
97	潰瘍性大腸炎
98	好酸球性消化管疾患
99	慢性特発性偽性腸閉塞症
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
101	腸管神経節細胞僅少症
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群
103	CFC症候群
104	コステロ症候群
105	チャージ症候群
106	クリオピリン関連周期熱症候群
107	若年性特発性関節炎
108	TNF受容体関連周期性症候群
109	非典型溶血性尿毒症症候群
110	ブラウ症候群
111	先天性ミオパチー
112	マリネスコ・シェーグレン症候群
113	筋ジストロフィー
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
115	遺伝性周期性四肢麻痺
116	アトピー性脊髄炎
117	脊髄空洞症
118	脊髄髄膜瘤
119	アイザックス症候群
120	遺伝性ジストニア
121	※脳内鉄沈着神経変性症(旧名:神経フェリチン症)
122	脳表ヘモジデリン沈着症
123	※HTRA1関連脳小血管病(旧名:禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症)
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
126	※ペリー病(旧名:ペリー症候群)
127	前頭側頭葉変性症
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症
130	先天性無痛無汗症
131	アレキサンダー病
132	先天性核上性球麻痺
133	メビウス症候群
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
135	アイカルディ症候群
136	片側巨脳症
137	限局性皮質異形成
138	神経細胞移動異常症
139	先天性大脳白質形成不全症
140	ドラベ症候群

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から、334～338は令和3年11月から、339～341は令和6年4月から医療費助成を開始)

番号	病名
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
142	ミオクロニー欠伸てんかん
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
144	レノックス・ガストー症候群
145	ウエスト症候群
146	大田原症候群
147	早期ミオクロニー脳症
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
150	環状20番染色体症候群
151	ラスムッセン脳炎
152	PCDH19関連症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
155	ランドウ・クレフナー症候群
156	レット症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群
158	結節性硬化症
159	色素性乾皮症
160	先天性魚鱗癬
161	家族性良性慢性天疱瘡
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
163	特発性後天性全身性無汗症
164	眼皮膚白皮症
165	肥厚性皮膚骨膜炎
166	弾性線維性仮性黄色腫
167	※マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群(旧名:マルファン症候群)
168	エーラス・ダンドロス症候群
169	メンケス病
170	オクシタル・ホーン症候群
171	ウィルソン病
172	低ホスファターゼ症
173	VATER症候群
174	那須・ハコラ病
175	ウィーバー症候群
176	コフィン・ローリー症候群
177	ジュベール症候群関連疾患
178	モワット・ウィルソン症候群
179	ウィリアムズ症候群
180	ATR-X症候群
181	クルーゾン症候群
182	アペール症候群
183	ファイファー症候群
184	アントレー・ピクスラー症候群
185	コフィン・シリズ症候群
186	ロスムンド・トムソン症候群
187	歌舞伎症候群
188	多脾症候群
189	無脾症候群
190	鰓耳腎症候群
191	ウェルナー症候群
192	コケイン症候群
193	ブラダー・ウィリ症候群
194	ソス症候群
195	ヌーナン症候群
196	ヤング・シンプソン症候群
197	1p36欠失症候群
198	4p欠失症候群
199	5p欠失症候群
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
201	アンジェルマン症候群
202	スミス・マギニス症候群
203	22q11.2欠失症候群
204	エマヌエル症候群
205	脆弱X症候群関連疾患
206	脆弱X症候群
207	総動脈幹遺残症
208	修正大血管転位症
209	完全大血管転位症
210	単心室症
211	左心低形成症候群

※令和6年4月から名称変更

番号	病名
212	三尖弁閉鎖症
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
215	ファロー四徴症
216	両大血管右室起始症
217	エプスタイン病
218	アルポート症候群
219	ギャロウェイ・モワット症候群
220	急速進行性糸球体腎炎
221	抗糸球体基底膜腎炎
222	一次性ネフローゼ症候群
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
224	紫斑病性腎炎
225	先天性腎性尿崩症
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)
227	オスラー病
228	閉塞性細気管支炎
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)
230	肺胞低換気症候群
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症
232	カーニー複合
233	ウォルフラム症候群
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)
235	副甲状腺機能低下症
236	偽性副甲状腺機能低下症
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
240	フェニルケトン尿症
241	高チロシン血症1型
242	高チロシン血症2型
243	高チロシン血症3型
244	メープルシロップ尿症
245	プロピオン酸血症
246	メチルマロン酸血症
247	イソ吉草酸血症
248	グルコーストランスポーター1欠損症
249	グルタル酸血症1型
250	グルタル酸血症2型
251	尿素サイクル異常症
252	リジン尿性蛋白不耐症
253	先天性葉酸吸収不全
254	ポルフィリン症
255	複合カルボキシラーゼ欠損症
256	筋型糖原病
257	肝型糖原病
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
260	シトステロール血症
261	タンジール病
262	原発性高カイロミクロン血症
263	脳髄黄色腫症
264	無 β リポタンパク血症
265	脂肪萎縮症
266	家族性地中海熱
267	高IgD症候群
268	中條・西村症候群
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
270	慢性再発性多発性骨髄炎
271	強直性脊椎炎
272	進行性骨化性線維異形成症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症
274	骨形成不全症
275	タナトフォリック骨異形成症
276	軟骨無形成症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)
281	クリッペル・レノネー・ウェーバー症候群
282	先天性赤血球形成異常性貧血

難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

(1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から、331は平成30年4月から、332～333は令和元年7月から、334～338は令和3年11月から、339～341は令和6年4月から医療費助成を開始)

番号	病名
283	後天性赤芽球癆
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
285	ファンconi貧血
286	遺伝性鉄芽球性貧血
287	エプスタイン症候群
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
289	クロンカイト・カナダ症候群
290	非特異性多発性小腸潰瘍症
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)
292	総排泄腔外反症
293	総排泄腔遺残
294	先天性横隔膜ヘルニア
295	乳幼児肝巨大血管腫
296	胆道閉鎖症
297	アラジール症候群
298	遺伝性膀胱炎
299	嚢胞性線維症
300	IgG4関連疾患
301	黄斑ジストロフィー
302	レーベル遺伝性視神経症
303	アッシャー症候群
304	若年発症型両側性感音難聴
305	遅発性内リンパ水腫
306	好酸球性副鼻腔炎
307	カナパン病
308	進行性白質脳症
309	進行性ミオクローヌステんかん
310	先天異常症候群
311	先天性三尖弁狭窄症
312	先天性僧帽弁狭窄症

番号	病名
313	先天性肺静脈狭窄症
314	左肺動脈右肺動脈起始症
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症
316	カルニチン回路異常症
317	三頭酵素欠損症
318	シトリン欠損症
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
321	非ケトーシス型高グリシン血症
322	β -ケトチオラーゼ欠損症
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
324	メチルグルタコン酸尿症
325	遺伝性自己炎症疾患
326	大理石骨病
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
328	前眼部形成異常
329	無虹彩症
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症
331	特発性多中心性キャスルマン病
332	膠様滴状角膜ジストロフィー
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群
334	脳クレアチン欠乏症候群
335	ネフロン癆
336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)
337	ホモシスチン尿症
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
339	MECP2重複症候群
340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)
341	TRPV4異常症